

2016年12月

日本企業における個人 BSC の展開

情報学部 経営情報学科 志村ゼミ
B3P21071 下田千架羅

【卒業論文概要】

1992年にバランストスコアカード(以下、BSCとする)が提唱され、20年以上が経つ。BSCは戦略の策定、展開の進行を補助する経営戦略の1つである。企業や組織単位のビジョンや戦略を実現するため、複数の視点でバランスを保てる目標を立てて図式化し、その達成状況をスコアカードで評価する、という部分が基本となる。特徴としては、経営戦略を誰でもわかりやすい状態に整理出来ること、戦略の進捗状況を評価しやすいこと、などがあげられる。

また、自由度が高いためにBSCを活用する目標は明確化する必要がある。その中で、私はリコーの課や個人レベルで運用、活用されるBSCに興味を持った。そもそも、BSCはリコーのような大きな組織の課や個人レベルの目的管理には不向きと考えられるが、教科書通りではない自社流のBSCで成功した。

さらには、企業の多くが活用しているBSCの中には矛盾の生じる部分があるのではないかと感じた。メリットとなる部分デメリットとなる部分をあげ、特にデメリットとなった部分では解決案を提案する。